

株式会社あじかん / 2024年3月期 決算SUMMARY

2024年5月14日

通期	(百万円)	(第55期)	(第56期)	(第57期)	(第58期)	(第59期)	(第60期)	(第61期)
		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
<b>【連結】</b>	<b>【全社】</b>							
売上高		44,371	44,751	42,593	45,315	47,433	50,240	51,000
(前期比)		(103.3%)	(100.9%)	(95.2%)	(106.4%)	(104.7%)	(105.9%)	(107.5%)
売上原価		32,536	32,933	31,130	34,155	36,836	37,673	
売上総利益		11,835	11,818	11,462	11,160	10,596	12,566	
(利益率)		(26.7%)	(26.4%)	(26.9%)	(24.6%)	(22.3%)	(25.0%)	
販売費及び一般管理費		10,838	11,085	10,831	10,600	10,507	10,856	
営業利益 ※①+②+③-④		997	732	631	560	89	1,710	1,600
経常利益		1,201	851	836	921	466	2,266	1,700
(利益率)		(2.7%)	(1.9%)	(2.0%)	(2.0%)	(1.0%)	(4.5%)	
親会社株主に帰属する当期純利益		920	551	600	635	267	1,509	1,200
(利益率)		(2.1%)	(1.2%)	(1.4%)	(1.4%)	(0.6%)	(3.0%)	(2.4%)
(EPS・円)		(120.89)	(72.48)	(78.88)	(83.44)	(35.21)	(198.38)	(157.67)
<b>【業務用食品】</b>								
売上高		40,321	40,190	37,632	40,837	43,399	46,417	
(前期比)		(101.6%)	(99.7%)	(93.6%)	(108.5%)	(106.3%)	(107.0%)	
うち 自社製品		(20,525)	(21,134)	(19,806)	(21,721)	(23,309)	(25,256)	
※① セグメント利益 (▲: 損失)		2,279	1,948	1,667	1,493	961	3,370	
<b>【ヘルスフード】</b>								
売上高		4,050	3,913	4,387	3,926	3,498	3,346	
(前期比)		(124.8%)	(96.6%)	(112.1%)	(89.5%)	(89.1%)	(95.7%)	
うち 自社製品		(4,035)	(3,827)	(4,286)	(3,821)	(3,398)	(3,257)	
※② セグメント利益 (▲: 損失)		564	343	614	689	634	317	
<b>【その他】</b>								
売上高		-	647	573	551	534	476	
(前期比)		-	-	(88.6%)	(96.2%)	(96.9%)	(89.1%)	
※③ セグメント利益 (▲: 損失)		-	7	▲35	▲3	▲4	▲19	
※④ 【全社費用等】		1,847	1,566	1,614	1,619	1,503	1,958	
営業CF		1,641	2,209	2,002	442	959	1,376	
投資CF		▲1,064	▲815	▲238	▲438	▲533	▲1,100	
財務CF		▲569	▲1,060	▲1,770	▲78	▲179	▲247	
現金等の増減額 (▲: 減少)		▲11	321	▲2	▲11	279	65	
固定資産投資 (建仮除く)		1,210	1,185	669	483	1,043	1,253	
減価償却費		1,086	1,144	1,118	1,056	1,062	1,127	
研究開発費		397	432	387	347	320	340	
従業員数(人)		815	972	964	928	920	907	
総資産		24,893	24,106	23,745	24,440	25,102	27,640	
借入金		6,756	6,526	4,979	5,170	5,272	5,308	
純資産		12,416	12,652	13,228	13,874	14,157	15,844	
(自己資本比率)		(49.9%)	(52.5%)	(55.7%)	(56.8%)	(56.4%)	(57.3%)	
(EBITDA)		(2,083)	(1,876)	(1,749)	(1,616)	(1,151)	(2,837)	
(ROA)		3.7%	2.2%	2.5%	2.6%	1.1%	5.7%	
(ROIC)		3.6%	2.6%	2.3%	2.1%	0.3%	5.8%	
(ROE)		7.6%	4.4%	4.6%	4.7%	1.9%	10.1%	
(PBR)		0.6倍	0.4倍	0.5倍	0.5倍	0.4倍	0.6倍	
(DOE)		0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	0.9%	1.3%	
(1株当たり・円)		(15.00)	(15.00)	(15.00)	(15.00)	(16.00)	(25.00)	(25.00)
<b>【個別】</b>	<b>売上高</b>	43,985	43,696	41,646	44,220	46,439	49,066	50,000
(前期比)		(103.2%)	(99.3%)	(95.3%)	(106.2%)	(105.0%)	(105.7%)	(107.7%)
売上総利益		11,556	11,553	11,250	10,847	10,320	12,165	
(利益率)		(26.3%)	(26.4%)	(27.0%)	(24.5%)	(22.2%)	(24.8%)	
販売費及び一般管理費		10,689	10,873	10,635	10,357	10,270	10,529	
営業利益		867	680	614	489	49	1,635	
経常利益		1,132	842	824	936	428	2,229	1,600
(利益率)		(2.6%)	(1.9%)	(2.0%)	(2.1%)	(0.9%)	(4.5%)	(3.2%)
当期純利益		874	579	586	674	270	1,497	1,150
(利益率)		(2.0%)	(1.3%)	(1.4%)	(1.5%)	(0.6%)	(3.1%)	(2.3%)
(EPS・円)		(114.91)	(76.18)	(77.05)	(88.61)	(35.55)	(196.76)	(151.10)
総資産		24,235	22,816	22,546	23,004	23,501	26,014	
純資産		11,860	12,158	12,699	13,180	13,353	14,929	

**2024年3月期**

【鶏卵の供給制限以降、玉子製品を中心に販売量が減少するも、価格改定の浸透や、寿司・弁当具材の売上拡大により増収・増益（過去最高）／増益によりROEは、10.1%まで改善】

業務用食品においては、鳥インフルエンザに伴う鶏卵の供給制限により、玉子製品の需要は回復していないものの価格改定の浸透や、野菜加工品、調理済冷凍食品などの売上高が拡大したことや、北米・オセアニアなどを中心とした海外輸出も拡大し、増収（前連結会計年度比7.0%増加）となった。セグメント利益は、原材料の高騰や、エネルギーコストの上昇による影響を受けたが、売上高の増加に加え、生産効率・配送効率の向上や、諸経費の抑制などにより、増益（同250.6%増加）となった。

一方、ヘルスフードは、新製品の投入効果もあったが、健康茶市場の競争激化により新規顧客の開拓が鈍化し、減収（同4.3%減少）となった。セグメント利益は、カスタマーセンター増設に伴う諸経費や、前期に抑制した広告宣伝を強化したものの広告宣伝効率の引き上げが遅れ、減益（同49.9%減少）となった。

これに全社費用などを加えた営業利益は1,710百万（同1820.9%増加）、為替差益や為替予約の時価評価益などの営業外損益を加えた経常利益は2,266百万（同386.1%増加）、営業所の統合による減損損失などの特別損益を加えた親会社株主に帰属する当期純利益は1,509百万（同463.5%増加）と増益。

配当については、自己資本配当率の向上および経営成績を勘案し、25円（普通配当15円＋特別配当10円）／株を予定する。

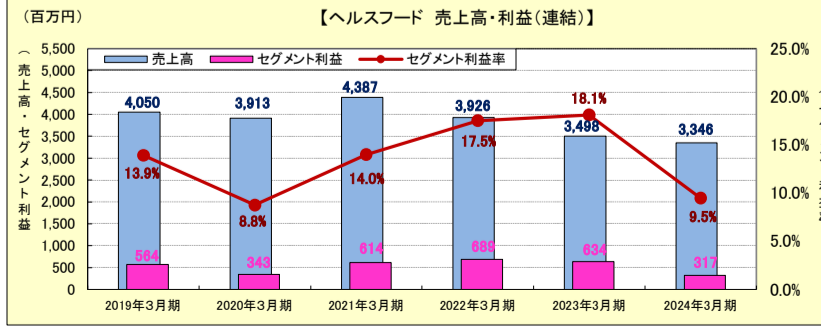
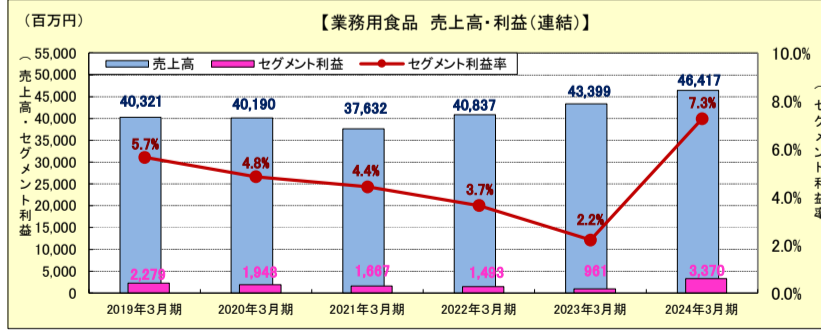
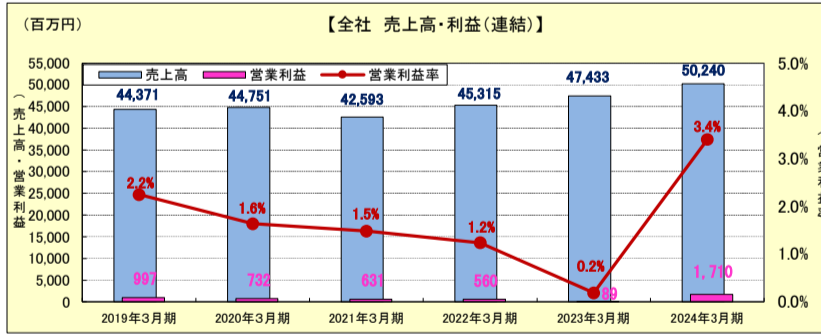
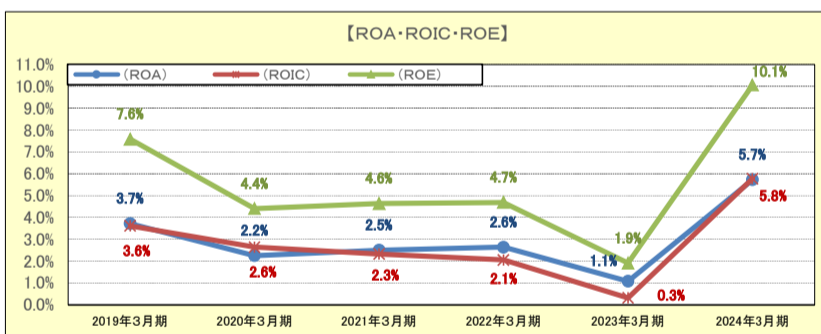
**2025年3月期見通し**

2030年3月期を着地点とする長期ビジョン“あじかんV30 ver.2.0”を策定し、第13次中期経営計画（2025年3月期～2027年3月期）の初年度をスタートさせる。

2025年3月期は、業務用食品では、玉子製品の販売促進に加え、生産効率の向上に向けた取組強化、物流効率改善に向けた物流拠点の整備を進める。ヘルスフードでは、新製品開発を進めるとともに、焙煎こぼろを活用した新市場開拓を進める。

業績見通しについては、円安の進行、原油高に伴う仕入コストの上昇、人件費など諸経費の増加が見込まれる中、自助努力可能な原価低減に加え、収益構造改革の完遂と新たな価値創造ビジネスを推進し、通期では、売上高51,000百万円、営業利益1,600百万円、経常利益1,700百万円、親会社株主に帰属する当期純利益1,200百万円を見込む。

次期の配当については、資本コストや株価を意識した経営の実現に向け、収益構造の良化を進めるとともに、配当水準の段階的な引き上げを実施する。／1株当たり配当金25円（普通配当）を予定する。



※ EPS = 1株当たり利益、EBITDA = 営業利益 + 減価償却費、ROA = 総資産利益率、ROIC = 投下資本利益率、ROE = 自己資本利益率、PBR = 株価純資産倍率、DOE = 自己資本配当率

**第2四半期累計**

通期	(百万円)	(第55期)	(第56期)	(第57期)	(第58期)	(第59期)	(第60期)	(第61期)
		2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
<b>【連結】</b>	<b>売上高</b>	21,699	21,958	20,238	21,667	22,912	24,249	24,500
(前期比)		(4-9月)	(4-9月)	(4-9月)	(4-9月)	(4-9月)	(4-9月)	(4-9月)
売上総利益		5,814	5,811	5,336	5,196	5,538	5,859	
(利益率)		(26.8%)	(26.5%)	(26.4%)	(24.0%)	(24.2%)	(24.2%)	
販売費及び一般管理費		5,399	5,659	5,356	5,164	5,292	5,276	
営業利益		414	151	▲20	31	245	582	500
(利益率)		(1.9%)	(0.7%)	(▲0.1%)	(0.1%)	(1.1%)	(2.4%)	
経常利益 (▲: 損失)		599	149	▲5	127	738	966	500
親会社株主に帰属する四半期純利益 (▲: 損失)		410	70	▲25	65	490	657	350
(EPS・円)		(53.88)	(9.21)	(▲3.37)	(8.57)	(64.42)	(86.43)	(45.99)
営業CF		1,136	1,478	618	▲28	492	▲554	
投資CF		▲924	▲415	▲107	▲302	▲158	▲379	
財務CF		▲280	▲719	▲403	239	▲263	876	
現金等の増減額 (▲: 減少)		▲78	332	97	▲61	142	▲21	
総資産		25,190	24,769	23,804	24,472	25,838	27,781	
純資産		12,074	12,282	12,538	13,254	14,504	14,926	
<b>【個別】</b>	<b>売上高</b>	21,540	21,451	19,810	21,163	22,446	23,689	24,000
売上総利益		5,657	5,689	5,241	5,051	5,400	5,649	
(利益率)		(26.3%)	(26.5%)	(26.5%)	(23.9%)	(24.1%)	(23.8%)	
販売費及び一般管理費		5,323	5,547	5,256	5,049	5,169	5,111	
営業利益 (▲: 損失)		333	141	▲14	2	231	537	
経常利益 (▲: 損失)		507	111	▲38	100	661	871	490
四半期純利益 (▲: 損失)		338	42	▲59	49	432	583	340
(EPS・円)		(44.54)	(5.58)	(▲7.80)	(6.49)	(56.87)	(76.67)	(44.67)
総資産		24,448	23,402	22,598	23,029	24,102	26,014	
純資産		11,438	11,743	12,048	12,574	13,518	13,943	

(注) 上記2025年3月期予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。